ゆたぁ～と

発　行
小国公立病院
0967-46-3111
おぐに老人保健施設
0967-46-6111
小国調剤薬局
0967-46-
ゆう薬局
0967-46-6320

創 刊 号
平成25年7月1日

『より地域に密着した医療を目指して』

今月より、広報委員会を中心に、病院の広報活動を積極的に行う事になりました。この新聞もその一環として、利用者の方々にご愛顧いただけますと幸いです。

今回は、病院のいろんな部署の紹介や現在取組んでいる事を紹介していきたいと思います。病院と老健の現況ですが、医師・看護師・介護職員の不足は続いています。

いろんな対策を考えて実行しておりますが厳しい状況が続いています。この件は別途詳しく説明したいと思っています。

今年度は国の地域医療再生計画の補助金をいただいてCT，MRIの更新を予定しております。また、来年度はプロジェクトチームを作って検討を進めてきた電子カルテの導入を検討しております。

利用者より、より多くのご意見を伺おうと、くまもんのロゴが入った新しいご意見箱を、外来、病棟、老健に設置しました。いただいたご意見は皆で検討し改善が必要なところは改善していくつもりです。又ご意見に対する病院からの回答も掲示するように致しました。ご意見の中で多いのは接遇、待ち時間、医師の交代、設備に関することなどです。この取り組みに関しましても、別途説明させていただければと思います。

今、職員全体が病院・老健の運営等に関心が高まっており、いろんな意見が出てくるようになりました。業務改善委員会、接遇委員会、医療安全委員会等の活動もより活発になってきております。それと共に学会、研究会等への参加も積極的になってきました。

今後の方向としては『より地域に密着した医療』、即ち最近よく言われる『地域包括ケア』を進めて行きたいと思っています。

小国公立病院院長
おぐに老人保健施設施設長
坂本　英世

広報誌「ゆたぁ～と」いよいよ始まります!!

『町民により近い医療施設へ』

小国公立病院・おぐに老人保健施設で、広報委員会の活動が始まりました。医療の現場は、その専門性から閉鎖的になりやすく、利用者と医療スタッフの間に溝が出来やすいものです。少子高齢化が進んでいるにも関わらず医療スタッフ不足が深刻なこの小国郷では、この溝を埋めていかなければ、医療そのものが立ちゆかなくなってしまいます。我が広報委員会は、この溝を埋めるために設立されました。広報委員会では、小国郷のみなさんに、地元の医療の現場を知って頂き、より親しみの持てる施設になる様、様々な形で情報を発信していきたいと思います。町民により近い医療施設へ。ご期待下さい。

広報委員長　片岡恵一郎

内科の新しい先生の紹介です!!

國友耕太郎
生年月日：昭和60年10月6日
出身地：玉名市天水町小天
経歴：
天水中⇒濟々黌⇒自治医大⇒日赤
血液型：A型
趣味：ソフトテニス
　　スポーツ観戦
今後やってみたいこと：川釣り

小国での豊富：小国郷の様々なイベントに参加して、小国町での生活を楽しみたいです。いろいろ誘ってください！！

『安心と信頼のある施設へ』

おぐに老人保健施設は、小国杉をふんだんに使用した建物で、家庭的な雰囲気で出来る限り自立した生活を目指した施設です。

今年で設立十五年目となりますが、日々、介護に携わる中で、ここ小国郷においても独居生活や老夫婦２人暮らしの世帯が増え、高齢化が進むにつれて、介護度が高くなる一方です。

また、認知症の増加、高齢者を取り巻く介護力の低下など、年々介護そのものが家庭において厳しいものとなっているように感じます。

老健からは、地域の皆様に安心・信頼される施設を目指し、新聞を通じ『介護保険のあれこれ』『よりよい介護の方法』『介護相談』『行事の紹介』など発信していければと考えています。

おぐに老人保健施設　広報担当

今月より小国公立病院・おぐに老人保健施設・小国調剤・ゆう薬局の共同広報誌『ゆたぁ～と』を発行することとなりました。来月から２ヶ月に１回の発行となりますが、様々な情報を発信していきたいと思っていますので、気楽に、そして末永くおつきあい下さい。どうぞ宜しくお願いいたします。また、病院・老健・新聞などへのご要望・ご意見などございましたら、各階に設置しています『くまモンポスト』へお気軽に投書して頂ければ幸いです。

広報委員　一同